

アイリックコーポレーション

AS platformリリースから半年

5000ID、代理店156社が登録

アイリックコーポレーションは2月2日、同社が運営する保険募集人向けの情報プラットフォーム「AS platform」(エーエスプラットフォーム)の登録ID数が、1月に5000IDを突破した(登録代理店156社)と発表した。2025年7月の本格リリースから半年での達成となった。

保険販売の現場では、複数の保険会社から日々届く膨大な商品・規定情報の整理が募集人の大きな業務負担となっていた。顧客への誠実な対応

に欠かせない知識習得が、情報の断片化によって非効率となっていた。実は、「情報の分散」によって募集人本来のパフォーマンスを阻害してお

情報の一元化で募集人の商品理解を支援

り、業界全体の大きな課題になっていると同社は

この状況を打破するため、同社は大型代理店としての実務ノウハウと開

発部門の技術力を融合し、募集人が本来のコンサルティング業務に集中

できるような環境を構築して、利便性が劇的に向上した。

①主力システムユーザーの声を反映したサービス開発・同社の主力システムである「AS-BO

X」や「AS-SYSTEM」を利用している代理店・募集人の声

を真摯に聴き取り、現場で本当に必要とされている機能を厳選して開

発に注力した。具体的には、各保険会社の商品名や特約名から保障内容を

②募集人への無償提供。AS platformは、登録した代理店に所属する募集人に無償で提供している。高い実用性を持つツールをコスト負担なく導入できる点が、多くの募集人に支持

され、短期間でユーザー数拡大につながった。これらにより、募集人が本来の業務である「顧客への最適な提案」に注力できる環境を構築している。

また、同サービスは保険会社からも、多くの募集人へ自社の最新情報やコンテンツを直接かつ適切に提供できる場として

強い関心を寄せられている。今後、情報の伝達効率がさらに高まることで、募集人の商品理解が深まり、より質の高いサービス提供につながる基盤となるものとして期待

されている。今後、AS platformは同社が保険代理店に提供するすべてのサービスの「ハブ」となることで、募集人が保険提案に必要な情報を一元管理できるインフラへと進化するとしている。各

サービス間の連携については、ID統合によるSSO(シングルサインオン)を進める。

同社の建部賢二郎取締役副社長は、「日頃よりお取引のある保険代理店、保険会社には、AS platformのコンセプトに強い関心と期待を寄せていただいている。登録受付開始からわずか半年で5000IDに到達したことは、現場のニーズに即したサービスを提供できている証だと確信している。保険業界では保険会社によるAI活用やDXが加速しているが、代理店におけるテクノロジー活用による業務改善の余地はまだ多く残されている。引き続き、サービス拡充と各サービスとの連携を強化し、顧客、代理店、保険会社の三者利益の実現に貢献する」とコメントしている。

考えている。

2024年5月のサービスの構想着手から1年半、正式利用登録開始から約半年における急成長

の背景には、次の二つの大きな要因があると同社は分析している。

①主力システムユーザーの声を反映したサービス開発・同社の主力システムである「AS-BO

X」や「AS-SYSTEM」を利用している代理店・募集人の声

を真摯に聴き取り、現場で本当に必要とされている機能を厳選して開

発に注力した。具体的には、各保険会社の商品名や特約名から保障内容を

②募集人への無償提供。AS platformは、登録した代理店に所属する募集人に無償で提供している。高い実用性を持つツールをコスト負担なく導入できる点が、多くの募集人に支持

され、短期間でユーザー数拡大につながった。これらにより、募集人が本来の業務である「顧客への最適な提案」に注力できる環境を構築している。